

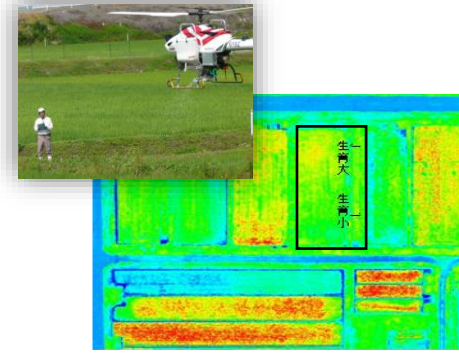
- 環境と調和した農林漁業の実現を目指し、**堆肥等の利用**や**スマート農業技術の活用**等による**化学肥料・化学農薬の使用低減**、**木質バイオマス**や**家畜排せつ物のエネルギー利用**等による**温室効果ガスの排出削減**を推進するとともに、**消費者・実需者の環境保全型農業への理解醸成・消費拡大**を図る。

【作成主体】 岩手県及び県内全33市町村

岩手県、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

【計画の主な目標】

- ・ みどりの食料システム法に基づく認定農林漁業者数
3,200人・組織 (R8)
- ・ 有機農業に取り組む農家数
100戸・組織 (R8)



リモートセンシングによる生育に応じた適正施肥



施設園芸での木質バイオマスの利用

【取組のポイント】

- ・ 「岩手県肥料コスト低減技術マニュアル」に基づく適正施肥や堆肥利用、生物的防除等の組み合わせによる総合防除、スマート農業技術の活用等による**化学肥料・化学農薬の使用量低減**の取組を推進
- ・ 農林漁業における省エネ設備導入や木質バイオマス等の**エネルギー利用**、水田作の中干し期間延長、家畜の飼料給与や排せつ物の**適正管理**等による**温室効果ガスの排出削減**の取組を推進
- ・ セミナーや交流会の開催、学校給食への食材提供等により**消費者・実需者の環境保全型農業への理解醸成**や**消費拡大**を促進



有機農業実践者と消費者の交流会の開催